

The background features several large, overlapping, rounded yellow shapes of various sizes and orientations, creating a dynamic and modern aesthetic.

町内会の未来は・・・

～ソーシャル・キャピタルの実現～

はるひの町内会

ココです！



町内会とは

法的には設置根拠を持たない

1 町内会の始まり

- 江戸時代には五人組。明治期にだんだん組織化。
- 戦前に政府主導で組織化 → 戦後一旦解消も、再び復活
- **高度成長期に拡大。**今の町内会につながるコミュニティの核たる存在となる。

2 “町内会”は法律で規定されていない！※1

- **法に設置根拠を持たない自由な組織**
- 地縁者の任意の集まり → **本来なら自由に活動できる組織であるはず！**
- 昭和のころからの決まり事、慣習がずっと残っている町内会もある？

※1 民法における「権利能力なき社団」に該当

法人格取得に関する地方自治法第260条の2に「地縁による団体」の定義はある

総務省の視点

1 令和3年より「地域コミュニティに関する研究会」

地域コミュニティに関する現状認識

- 自治会等の活動の持続可能性が低下する一方、防災や高齢者・子どもの見守り、居場所づくりなど、新たな住民ニーズも生じている
- 地域活動の持続可能性を高める方向でのデジタル化の推進を期待

2 研究会における3つの視点(課題)

- 地域活動のデジタル化を進める視点
- 自治会等の活動の持続可能性を向上させる視点 **(担い手不足)**
- **地域コミュニティの様々な主体間の連携を強化する視点**

担い手不足の問題

1

他にも理由はあるけれど

関心がない
興味もない
役員は大変そう
何しているか分からない
生活するだけで精いっぱい
定年延長になった
子育て忙しい

みんな年とった

2

加入率減少

担い手不足

3

持続できない

町内会がなかったら

ごみ集積所が荒れ放題？。

電柱の防犯灯は切れたまま

信号も横断歩道も
つかなくなる？

空き巣が増える？

あちこち草ぼーぼー

町内会の統計

全国に町内会※の数は、

約 30 万

全国で296,800

(2018年現在の総務省調べ)

因みに、

自主防災組織は、

約 17 万

全国で169,205

(2021年消防庁調べ)

※「地縁による団体」として

町内会の加入率は

全国平均

71.7%

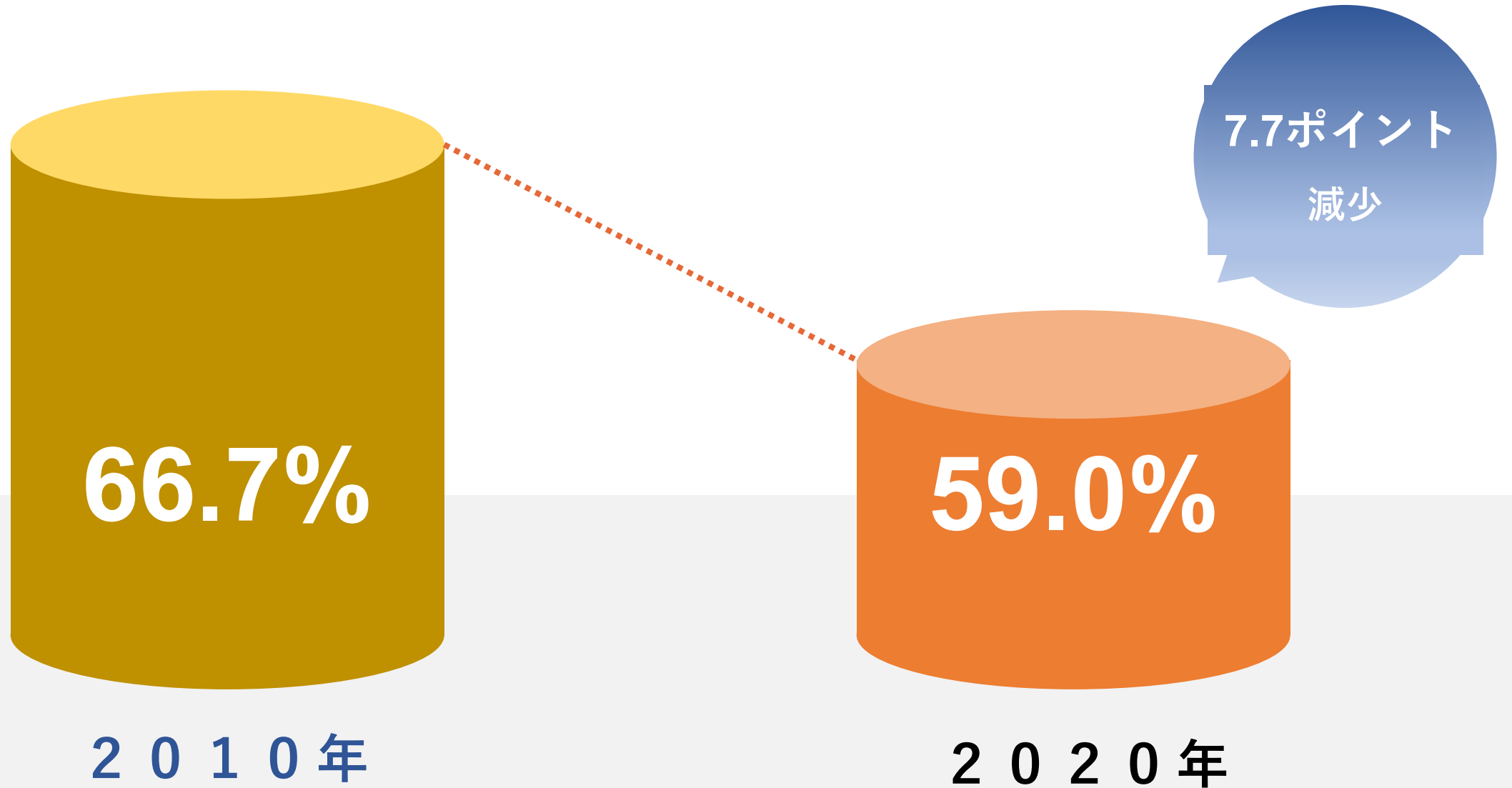
2020年 総務省

川崎市は

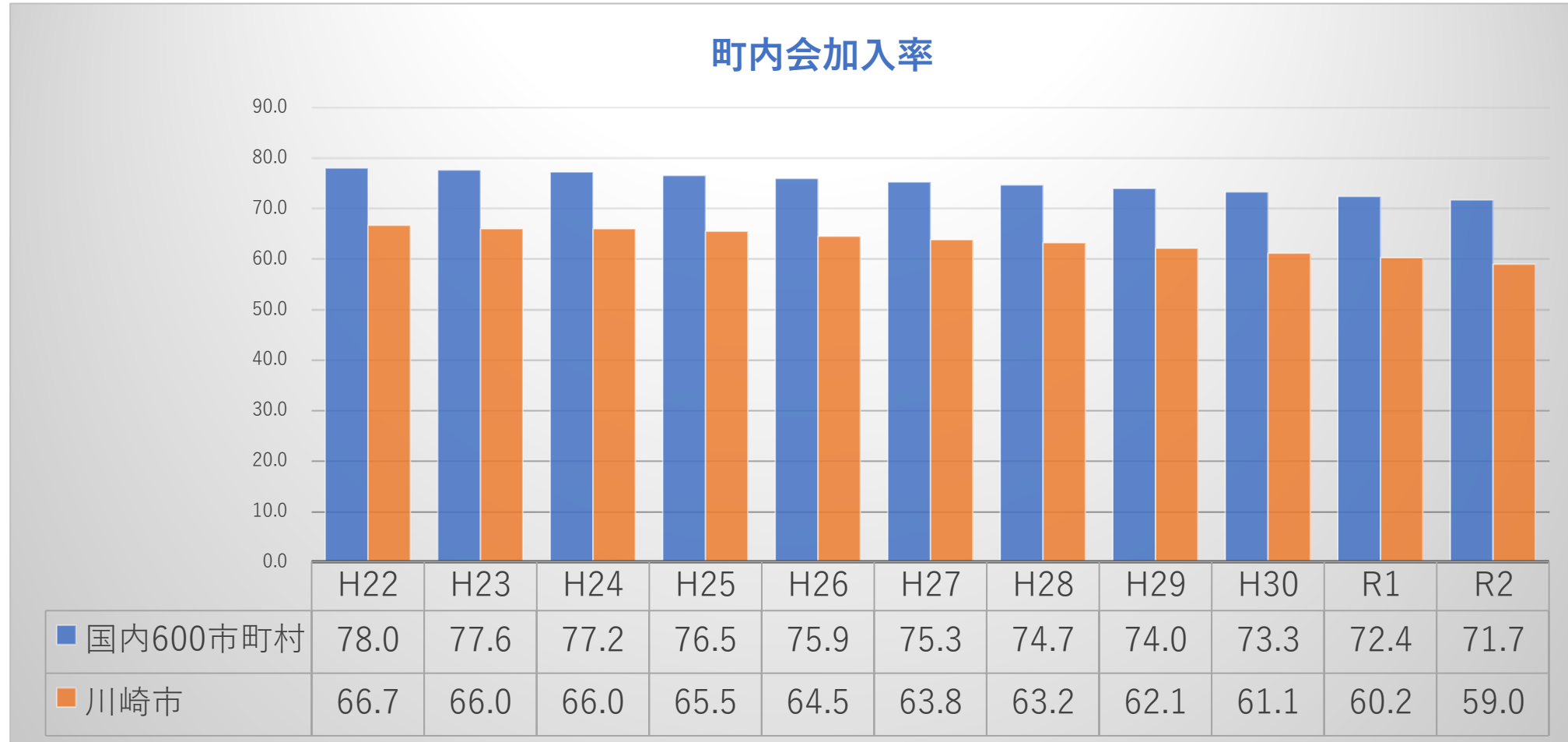
59.0%

2020年 川崎市

川崎市の加入率

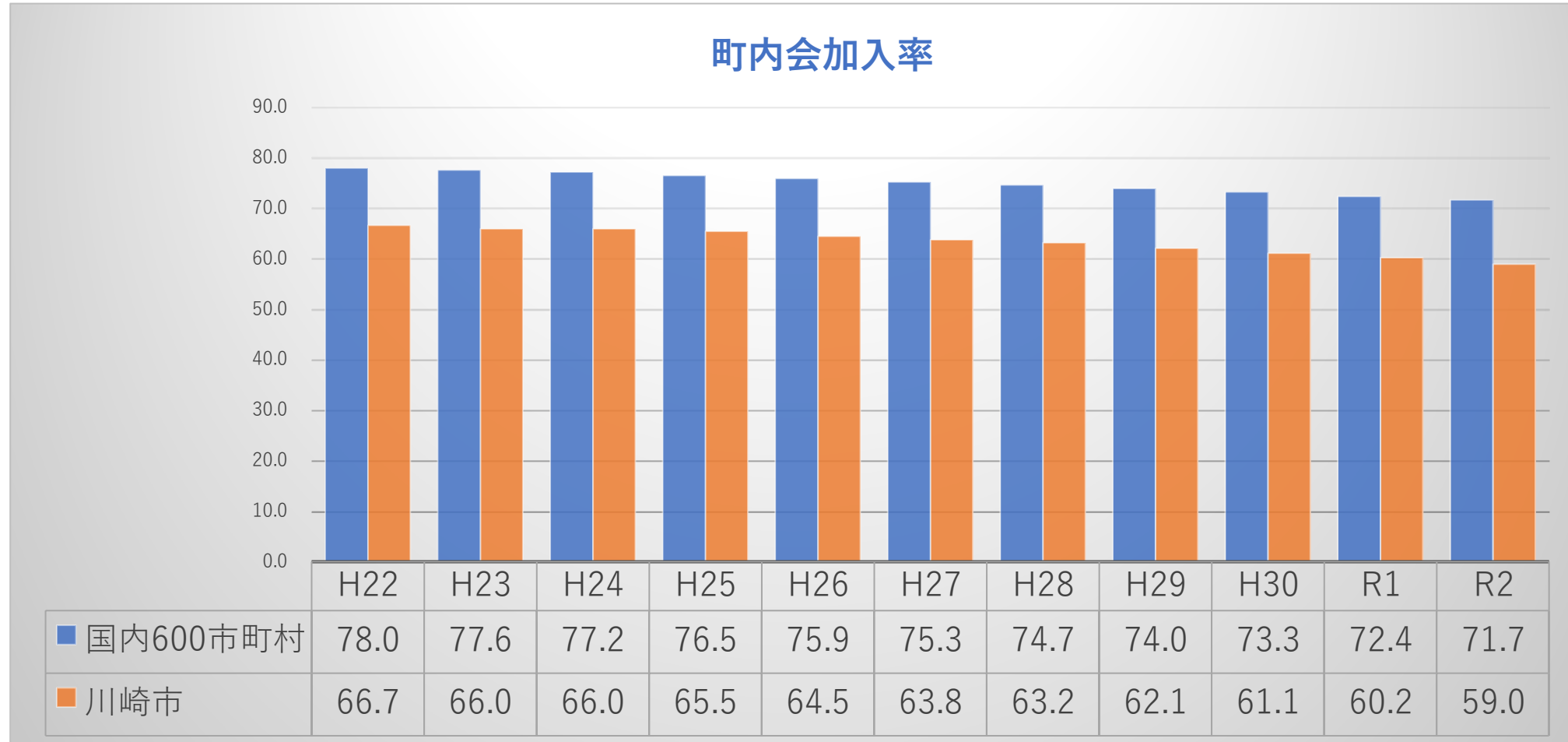


総務省・川崎市の統計から ～加入率～



└変化なし

総務省・川崎市の統計から ～加入率～



└東日本大震災

町内会と自主防災組織

	町内会	自主防災組織	民生委員・児童委員
法的根拠	法的根拠ない※1	災害対策基本法 国民保護法	民生委員法 児童福祉法
誰	地縁者の任意の集まり	地域住民による 任意の防災組織	厚生労働大臣 からの委嘱
転機	高度成長期	1995年	1946年
数	約30万	約17万	約23万人

※1 民法における「権利能力なき社団」に該当

法人格取得に関する地方自治法第260条の2に「地縁による団体」の定義はある

やはり町内会？

1

災害が起きた

2

町内会は大切だ
(自主防災組織)

3

“つながり”が命綱

はるひ野夏フェス2023

- ①開催日：2023年8月12日（土）（学校閉庁日）
- ②開催場所：はるひ野小中学校 校庭
- ③来場者数：2,706人
- ④コンテンツ：ステージは空手演武・ベリーダンス・バンド・ビンゴ大会など
出店は企業出店・キッチンカーなど 19時からの花火で終了
- ⑤推進メンバー

**10歳代から70歳代までの
ボランティア（100人以上）**



はるひ野カレッジ (通称 はるカレ)

①今までと違った「町内会イベント」を企画

- ・町内には、さまざまな知識やスキル、才能を持った方々が在住
- ・はるひ野町民による町民のための講座を開設

大人のための勉強会

②会場に集合 + Zoomオンラインでのハイブリッドで開催

③今までに3回実施

- ・宇宙工学のお話（大学で開発している人工衛星について）
- ・発酵食（免疫力アップ、アンチエイジング）
- ・依存症の予防と回復（お酒のトリセツ、アルコール依存症の実際と回復）

④「既存のイベントに不参加」の方々が、「おもしろい」と参加している



第3回 はるひ野親睦会 開催のご案内

皆さんは、はるひ野の安心・安全なまちづくりに向けてどのようにお考えでしょうか。
 コロナ禍による行動制限は緩和された一方、この間、住民同士の繋がりの希薄化・金品の強奪を目的とした凶悪な事件の発生など、社会環境は変化を続けています。
 はるひ野町内会では、今年度、住民同士のコミュニケーションの促進に向けた取組みとして「はるひ野親睦会」を開催することとしました。
 皆さん、積極的なご参加、お待ちしております。



- 日 時：2023/12/09（土） 17：30～20：00
- 会 場：町内会事務所
- 目 的：顔の見える住民同士の交流の活性化 / 防犯・防災対策の向上
- 参加対象：60代

第1回は40代、第2回は50代で開催し、各々、参加者10数名で親睦を深めました。
 今回は、60代です。
 はるひ野に、長く住まわれている方も、多くいらっしゃると思いますが、あらためて、親睦・交流を深めませんか◎◎◎
- 参加方法：右のQRコードより登録してください。（先着15名まで）
- 参加費：飲食代として1,000円/1人
- 締切り：11/24（金）
- 今後の予定：第4回：02/17（土）
- その他：町内会執行部への勧誘は、一切ありません。



年代別懇親会

- ①狙い
顔の見える住民同士の交流活性化 / 防犯・防災対策向上（住民同士のつながり強化）
- ②場所：町内会事務所
- ③参加方法：回覧上の二次元バーコードにより参加登録
- ④参加費：1千円（それ以外は町内会負担）
- ⑤開催実績：40歳代、50歳代、60歳代の計3回を開催済
 - ・2月に70歳代以上を開催予定
- ⑥今後の予定：20歳代、30歳代を開催継続、その後に再度40歳代（2巡目突入へ）
- ⑦重要なルール
町内会執行部への勧誘は行わない（回覧上にも明記）



はるひ野縁日

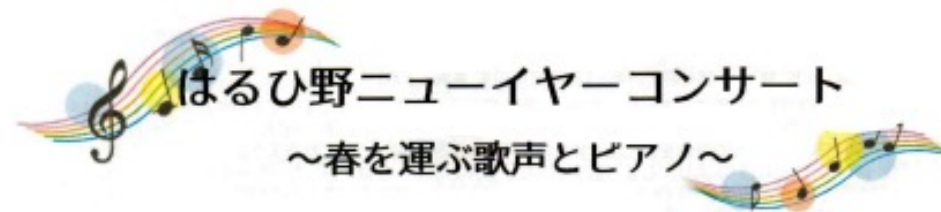
- ①開催日：2023年11月11日（土）（今年度）
- ②開催場所：こもれび公園、いろどり公園、黒川よこみね緑地の3か所（個人宅無し）
- ③主催：イベント部会
- ④出店例
ガレッジセール（子ども服、絵本、おもちゃなど）、手芸品・家庭 雑貨、趣味のサークル活動紹介、花苗販売 など
- ⑤毎回工夫・変更しながら開催
- ⑥「街全体を会場」とした、はるひ野らしい誰でも参加できるイベントとして育てていく



NEW

ニューイヤーコンサート

- ①開催日：2024年1月28日（日）
- ②開催場所：はるひ野黒川地域交流センター
- ③当町内会単独でミニコンサートを開催
- ④高いクオリティを実現
 - ・プロ3名による本格的コンサート
 - ・グランドピアノを持ち込み など



2024年1月28日(日) 開場 14:30 開演 15:00 (終演予定 16:30)

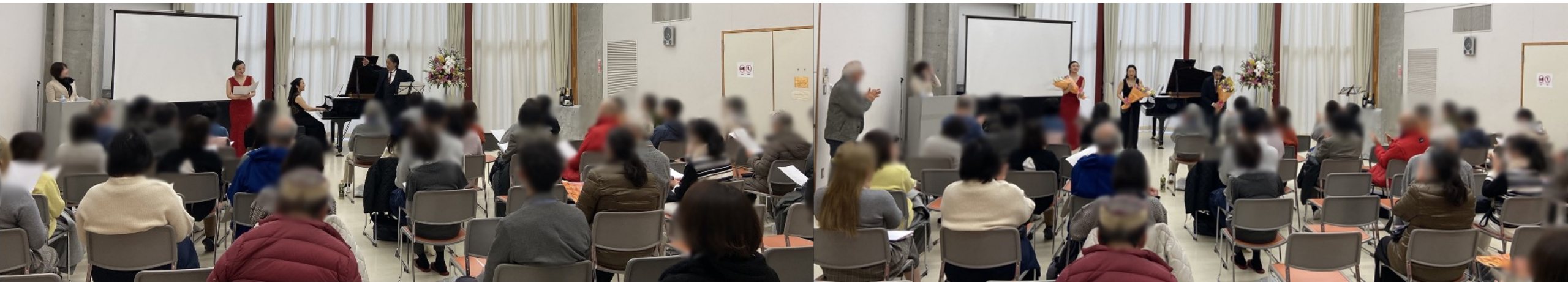
はるひ野黒川地域交流センター (はるひ野小中学校内)

主催：はるひ野町内会

第一部

- | | | |
|----------------------------|--------------|--------------|
| 1. 中国地方の子守唄 岡山県民謡 (ソプラノ) | 編曲 山田 耕作 | |
| 2. 赤とんぼ (バス) | 作詞 三木 露風 | 作曲 山田 耕作 |
| 3. 君がため織る綾節 (ソプラノ) | 作詞 三木 露風 | 作曲 山田 耕作 |
| 4. この道 (バス) | 作詞 北原 白秋 | 作曲 山田 耕作 |
| 5. 練習曲 op.10-5《黒鍵》 (ピアノ独奏) | | 作曲 F.ショパン |
| 6. 郷愁 (ソプラノ) | 作詞 C.ハイネ | 作曲 P.チマーラ |
| 7. 蚕の歌 (バス) | 作詞 J.W.v.ゲーテ | 作曲 M.ムソルグスキー |
| 8. 魔王 (バス) | 作詞 J.W.v.ゲーテ | 作曲 F.シューベルト |

☪ 休憩 (15分) ☪



まちづくり本部

①設立：2022年

②長期プランで、自主的に「まちの在り方」を検討

・はるひ野に今住んでいる方々は、自分たちで考えて「まちを創り上げた」訳ではない
区画、住宅地であることなど = 与えられたもの
現在満足している方が多いが、**これからも満足は続くのか？**

・「将来は、はるひ野も限界集落」（大半が後期高齢者？）になる？

・・・と言って会長就任時に住民を脅した？（2019年定期総会にて）

⇒ 「自分たちの住む場所をどうしたいか」を主体的に考える方向で動き出した

③はるひ野の将来を考え始めると、その周辺も気になって、新百合ヶ丘駅周辺や
麻生区全体の将来がどうあるべきか・・・と検討が広がってくるはず

④「はるひ野2040」とは、設立時に誕生した乳児が成人(18歳)になるときをゴール
にしたため

はるひ野2040ディスカッションについて

まちづくり本部では、発足した2022年以降、2040年*においても“住みやすい街”であるためには何が必要か、何をすべきか等について討論を重ねてきました。

人口推移、社会情勢の変化等の外部要因を考慮しつつ、複数回のグループディスカッション、住民アンケート調査を実施し分析した結果、“はるひ野”ならではのいくつかの論点も見えてきました。

また、昨年11月「はるひ野緑日」でのアンケート調査においては、「今後も“はるひ野”に住み続けたい」と回答した方の割合が90%以上にも及び、この結果は「“はるひ野”は住みやすい」とこれまで得た調査結果および肌感覚とも符合します。

一方、将来に亘って“住みやすい街”を続けていくために、“今”考えなければならないこともあります。今回、今そこに迫っている事象(危機)も考慮して、サステナブルな“はるひ野”実現のために何が必要かをテーマにディスカッションを実施します。 ※2040年：2022年に生まれた子どもが成人を迎える年

■ディスカッションテーマと日程

ディスカッション終了後1時間程度の懇親会を予定しています

テーマ	日時	場所
サステナブルな“はるひ野”のために何かを	2024年2月18日 15:00~17:00	トウトウザルダン集会室

＜懸念される事象＞

- はるひ野最多年齢層は40代後半
→30年後は全員後期高齢者！
→限界集落も現実味
→そのとき病院、スーパーは存在する？
- 来年度、はるひ野小学1年は80名ほど！
→近い将来小学校の統廃合？
- 20代後半は40代後半の5分の1
→将来の活動の担い手は？
- はるひ野にも空き家問題が。
→地区協定、用途地域は妥当？
- 将来、“はるひ野”だけで生き残られる？
→他の地域との連携が必要？



ご参加いただける方はQRコードからお申込みを
問い合わせ先：haruhino.machizukuri@gmail.com



まちづくり本部

このままでもいいの？



はるひ野2040ディスカッション
西暦2024年2月18日(日)15時
トウトウジャーダン集会室

はるひ野町内会まちづくり本部

まちづくり本部のこれから

妄想？いやいや

もっとたくさんあるけど

はるひ野内に自動運転車（オンデマンド）

2040年の子どもを呼び込む

はるひ野を超えたエリアマネジメント

今年、動きだしたい

国土交通省、川崎市、小田急と連携

ベビーカーが並ぶCAFÉを今から

新百合ヶ丘の再開発に着目

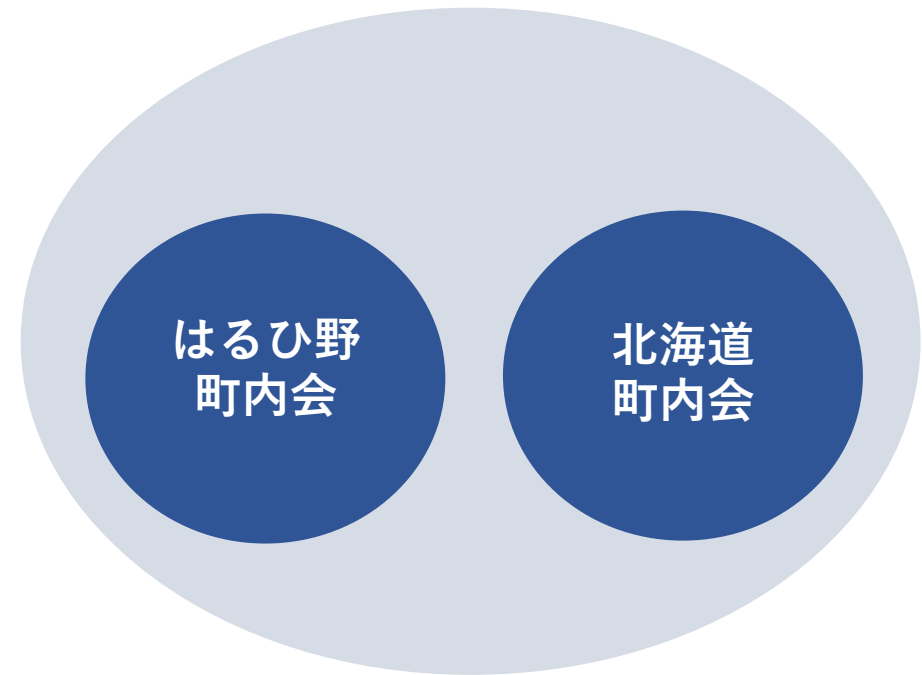
町内会の概念を超えて

“拡大はるひ野町内会”



はるひ野住民でなくてもOK

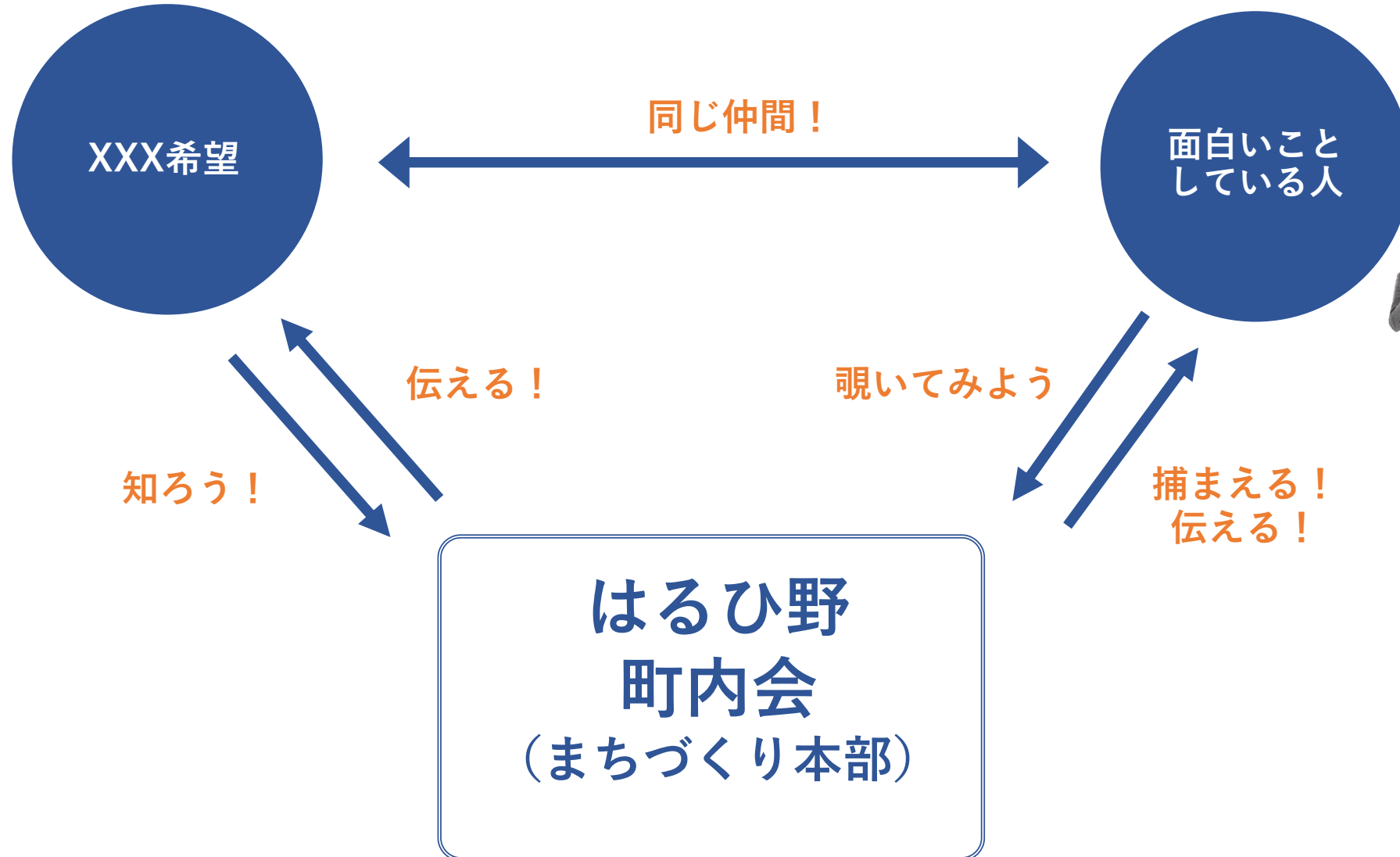
“同盟町内会”



価値観を共有する町内会同士

町内会と自主防災組織

1100N11NKAIG11



ソーシャル・キャピタル(社会関係資産)という考え方

1 ソーシャル・キャピタルとは

- 人々の協調行動が活発化することにより社会の効率性を高めることができる
- 醸成されると治安・健康・幸福感などによい影響
- 行政効率が高まると考えられている

2 町内会で取り入れると担い手にも困らなくなる？

- 強制・指示・お願いではなく、自らの意思で参加を考える状況づくり
- 真摯な活動、活動の見える化が互いの信頼関係を築く
- 信頼関係あるところに、自ずと課題に向き合う意思も生まれる